

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (樋口和夫)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5 億円
		通常砂防事業 しおやまたにがわ 塩山谷川	川西市 ひらの 平野	内用地補償費	0.1 億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
川西市平野				H 2 3	H 2 6
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者関連施設等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 2基 (H = 11.0m, L = 60.0m) (H = 12.0m, L = 80.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(二)猪名川水系塩川に流入する土石流危険溪流 ・溪床には不安定な土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、土砂災害の危険性が高い。 ・谷出口に災害時要援護者関連施設である病院があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約2ha(長さ200m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・協立温泉病院(災害時要援護者関連施設)、能勢電鉄平野駅				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成22年度に土砂災害警戒区域を指定予定であり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められる。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・周辺道路の利用については理解が得られやすく、工事用道路の確保が容易であるなど、事業執行環境は整っている。				
(3)環境適合性	・電鉄等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・災害時要援護者施設や電鉄を保全する必要があることから早期着手に対する地元・施設からの要望が高い。 以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

しおやまたにがわ
塩山谷川
[川西市]



計画概略図
縮尺 1:4,000

